

新城工場CSRレポート

新城工場 事業内容： 乗用車、ライトトラック用タイヤを生産
 敷地面積： 221,000m²
 従業員数： 900人(2010年3月末現在)
 所在地： 〒441-1343 愛知県新城市野田字古屋敷1番地
 TEL：0536(22)2251

新城南工場 事業内容： 乗用車、ライトトラック用タイヤを生産
 敷地面積： 88,300m²
 従業員数： 327人(2010年3月末現在)
 所在地： 〒441-1338 愛知県新城市一鍛田字大入10番24号

相談・苦情などの受付窓口
 新城工場業務課 TEL：0536-22-2251



工場長挨拶



桜井 光雄

新城工場は本工場と豊川を挟んだ南工場の2つの工場からなり、主に乗用車用高性能ラジアルタイヤの生産を行っています。また、「トップレベルの環境貢献企業」を目指す中核工場として、その先駆けとなるために、環境貢献商品の上市とタイヤ生産にかかわるあらゆる資源のムダ取りならびに省エネルギー活動を進めています。

2009年度は、こうした活動として最高峰コンフォートタイヤ「ADVAN dB」の生産拡大、新開発の吸音材「サイレントリング」や乗用車用パンク応急修理キッ

ト「AIR LOCK」の生産開始や、省エネを目的に工場内照明のLED化を行っています。また、「YOKOHAMA 千年の杜プロジェクト」活動では、工場の植樹だけでなく育苗した自前の苗を地元地域含め、ほかの企業、行政、学校、団体にも合計約6,000本提供し環境貢献を担っています。

2010年度は、『愛知県光化学スモッグ緊急時対策要綱』による緊急時協力工場として登録、既存設備のエネルギー効率の良いものへの交換などによるCO₂削減や省エネ活動推進、第2期植樹祭の開催や地域への苗の提供継続と同時に植樹にも参画協力し、環境首都コンテスト1位(第3群)を継続している新城市で、より一層の地域共存を図るための活動を進めていきます。

環境への取り組み

2010年度環境方針

新城工場は、「トップレベルの環境貢献企業」を目指す
 横浜ゴム株式会社の中核工場として、その先駆けとなります。

- (1) 心と技術をこめたモノづくりにより、幸せと豊かさにご貢献し、自らの意志として「環境にご貢献する改善」と「環境リスクの予防」を継続的に企画し、実践します。
- (2) 環境経営の持続的向上を実現するため、新城工場を構成するすべての部門・関連企業において、自ら定めた環境マネジメントシステムに従い、手順を確立し、維持向上します。
- (3) 関連する法令及び同意した協定・契約等を遵守し、環境保全に取り組みます。
- (4) エネルギー・原材料・水等の限りある地球資源を守るため、そのムダ使用を防止する行動(MD)を実践し、3R(*)を推進します。
 * Reduce：発生抑制、Reuse：再使用、Recycle：再生使用
- (5) 本方針を具現化するため、環境に影響を与える本来業務を自覚し、環境目的・目標を見える化し、定期的に見直し、計画を作成し実行します。
- (6) 新城工場で働く全ての従業員及び構成員が、本方針を理解し行動できるよう教育と啓発を行い周知徹底します。
- (7) 滔々たる豊川の流れと木々の緑に恵まれた自然と、調和・融合し、「YOKOHAMA千年の杜」活動を通じ、地域社会形成にご貢献し、共生を目指します。
- (8) 本方針は公開します。

環境・社会貢献活動の表彰

2009年11月27日トラック輸送から内航船へのモーダルシフトにより国土交通省よりエコシップ賞を頂きました。



PRTR対象物質

(単位t/年)

新城工場(母屋)

政令 番号	対象化学物質	取引量 ※1	排出量 ※2	移動量 ※3	安全性影響評価 VIII-5		
					有害性 ランク (人)	年間換算 排出量 (人)	年間換算 排出量 (生態)
100	コバルト及びその化合物	16.60	0.000	0.373			
115	N-シクロヘキシル-2-ベンゾ チアゾールスルフェンアミド	504.58	0.000	3.327			
198	ヘキサメチレンテトラミン	47.12	0.000	0.210			
282	N-(tert-ブチル)-2-ベンゾ チアゾールスルフェンアミド	176.92	0.000	0.566			
310	ホルムアルデヒド	13.23	0.000	4.476			
総合計		758.45	0.000	8.952			

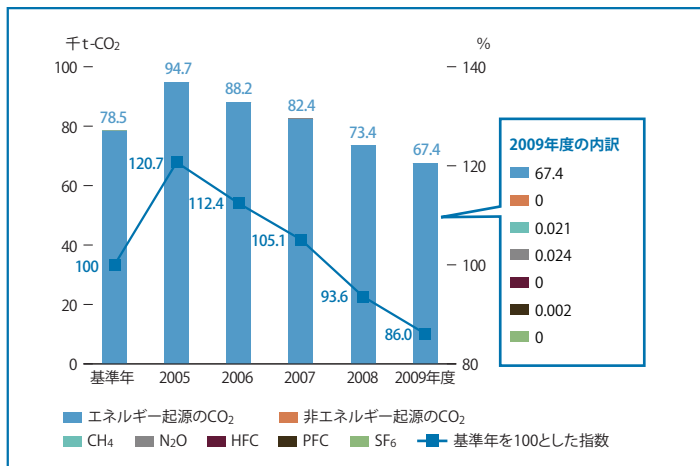
新城工場(新工場TNP)

政令 番号	対象化学物質	取引量 ※1	排出量 ※2	移動量 ※3	安全性影響評価 VIII-5		
					有害性 ランク (人)	年間換算 排出量 (人)	年間換算 排出量 (生態)
100	コバルト及びその化合物	15.601	0.000	0.038			
115	N-シクロヘキシル-2-ベンゾ チアゾールスルフェンアミド	73.644	0.000	0.473			
198	ヘキサメチレンテトラミン	4.296	0.000	0.034			
282	N-(tert-ブチル)-2-ベンゾ チアゾールスルフェンアミド	28.967	0.000	0.189			
		122.509	0.000	0.733			

1: 取引量は1トン以上を記載(ダイオキシン類を除く) ただし、ベンゼン等の特定第1種指定化学物質は0.5トン以上を記載
2: 排出量=大気+公共用水域+土壌
3: 移動量=廃棄物+公共下水道

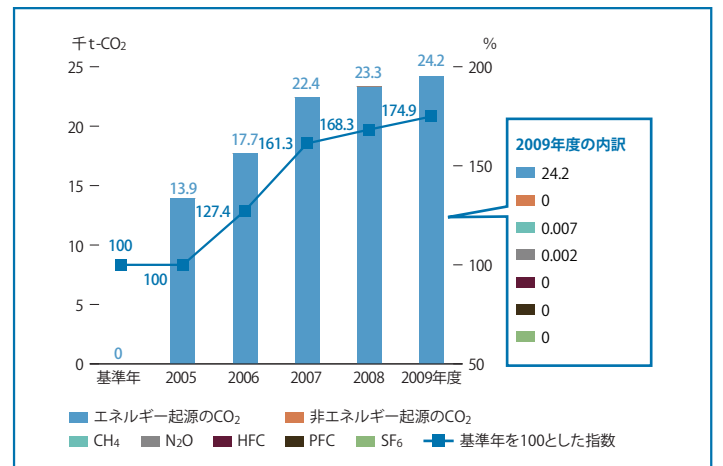
温室効果ガス排出量と基準年を100とした指数

新城工場(母屋) (基準年に対し14%削減した。)



※基準年: 1990年を原則としていますが、京都議定書に準じてHFC、PFC、SF₆は1995年としています。
※温室効果ガス(GHG)の算定方法: 環境省・経済産業省発行の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」に準拠しています。
なお、2009年度の電力購入からのGHG算定は、環境省公表の契約電力会社別実排出係数を使用しています。また、温対法改正(2010年3月31日)に伴い、燃料種別の発熱量と排出係数を見直しました。

新城工場(南工場) (設備立ち上げとともに、排出量は増加している。)



※基準年: 1990年を原則としていますが、京都議定書に準じてHFC、PFC、SF₆は1995年としています。
※温室効果ガス(GHG)の算定方法: 環境省・経済産業省発行の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」に準拠しています。
なお、2009年度の電力購入からのGHG算定は、環境省公表の契約電力会社別実排出係数を使用しています。また、温対法改正(2010年3月31日)に伴い、燃料種別の発熱量と排出係数を見直しました。
※2005年度に工場新設しました。

水質関係測定データ(主要排水)

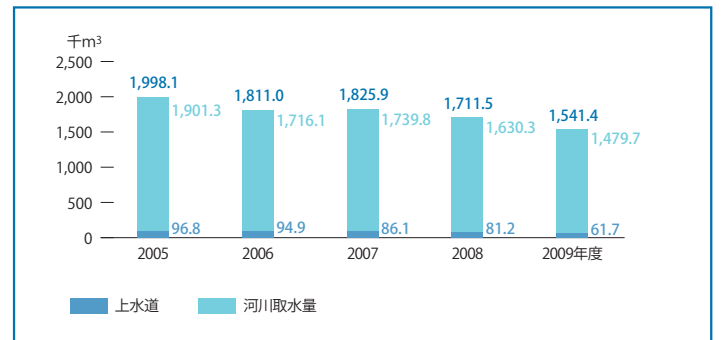
規制値および自主管理値の範囲内で管理されている。

排水口	項目	規制値	自主管理値	2009年度実績		
				平均値	最大値	最小値
新城工場 No.1排水	PH	5.8~8.6	6.5~8.0	7.4	7.8	7.2
	BOD濃度 (mg/l)	20	14.0以下	1.5	3.2	0.5
	COD濃度 (mg/l)	20	14.0以下	3.0	4.4	1.8
	SS濃度 (mg/l)	20	14.0以下	3.0	10.0	1.0
	油分濃度 (mg/l)	10	5.0以下	0.5	0.5	0.5
新城工場 No.2排水	PH	5.8~8.6	6.5~8.0	7.6	7.8	7.3
	BOD濃度 (mg/l)	20	14.0以下	1.6	3.6	0.5
	COD濃度 (mg/l)	20	14.0以下	2.5	4.1	1.1
	SS濃度 (mg/l)	20	14.0以下	1.0	4.0	1.0
	油分濃度 (mg/l)	10	5.0以下	0.5	0.5	0.5
新城南工場 No.1排水	PH	5.8~8.6	6.5~8.0	7.7	7.8	7.5
	BOD濃度 (mg/l)	20	14.0以下	4.2	7.5	2.0
	COD濃度 (mg/l)	20	14.0以下	6.0	8.2	3.4
	SS濃度 (mg/l)	20	14.0以下	2.0	5.0	1.0
	油分濃度 (mg/l)	10	5.0以下	0.5	0.5	0.5
新城南工場 No.2排水	PH	5.8~8.6	6.5~8.0	7.5	7.8	7.3
	BOD濃度 (mg/l)	20	14.0以下	3.5	5.4	1.4
	COD濃度 (mg/l)	20	14.0以下	4.2	6.1	2.6
	SS濃度 (mg/l)	20	14.0以下	2.0	9.0	1.0
	油分濃度 (mg/l)	10	5.0以下	0.5	0.5	0.5

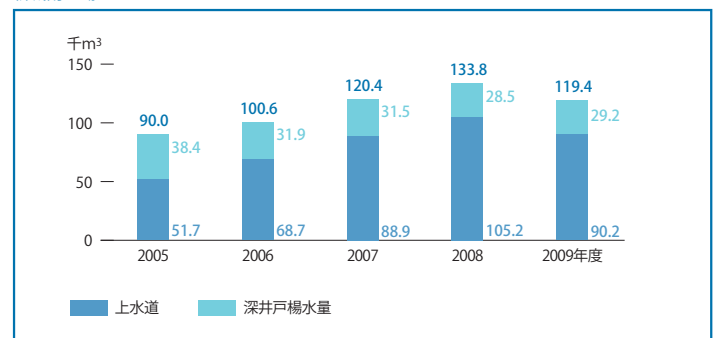
※公害防止協定、愛知県条例に準拠

水使用量

新城工場(母屋)



新城南工場



環境への取り組み

■大気関係測定データ(主要施設)

規制値・自主管理値ないで管理されている。

2009年度新城南工場1号、2号ボイラーが増設された。

新城工場

施設名称	項目	規制値	自主管理値	2009年度実績		
				平均値	最大値	最小値
新城工場 1号ボイラー	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	第三条の規定	0	0.003未満	0.003	0.002未満
	窒素酸化物濃度(ppm)	130	100	71	92	50
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.1	0.1	0.001未満	0.001未満	0.001未満
新城工場 2号ボイラー	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	第三条の規定	0	0.002未満	0.002未満	0.002未満
	窒素酸化物濃度(ppm)	130	100	75	99	51
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.1	0.1	0.001未満	0.001未満	0.001未満
新城工場 コージェネレーション	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	第三条の規定	0	0.25未満	0.3未満	0.2未満
	窒素酸化物濃度(ppm)	100	80	57	72	45
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.05	0.05	0.004未満	0.006未満	0.003未満
新城工場 温水ボイラーA	窒素酸化物濃度(ppm)	150	50	38	38	38
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.1	0	0.004未満	0.004未満	0.004未満
新城工場 温水ボイラーB	窒素酸化物濃度(ppm)	150	50	38	39	37
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.1	0	0.004未満	0.004未満	0.004未満
新城工場 ディッピングマシン	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	第三条の規定	0.0034	0.002	0.003	0.001
	窒素酸化物濃度(ppm)	250	150	16	19	13
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.15	0.1	0.012	0.018	0.005

※大気汚染防止法、愛知県条例、新城市公害防止協定に準拠

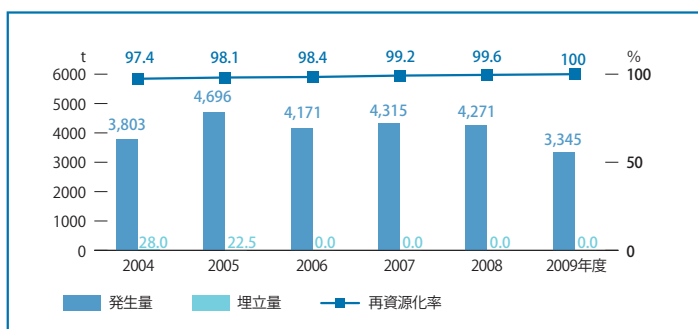
新城南工場

施設名称	項目	規制値	自主管理値	2009年度実績		
				平均値	最大値	最小値
新城南工場 1号高圧ボイラー	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	第三条の規定	0.08	0.01	0.014	0.005
	窒素酸化物濃度(ppm)	180	150	64	81	46
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.25	0.1	0.013	0.019	0.007
新城南工場 2号高圧ボイラー	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	第三条の規定	0.08	0.013	0.016	0.009
	窒素酸化物濃度(ppm)	180	150	64	81	47
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.25	0.1	0.012	0.015	0.009
新城南工場 3号高圧ボイラー	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	第三条の規定	0.08	0.023	0.041	0.004
	窒素酸化物濃度(ppm)	180	150	81	85	76
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.25	0.1	0.006	0.007	0.004
新城南工場 4号高圧ボイラー	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	第三条の規定	0.08	0.045	0.074	0.015
	窒素酸化物濃度(ppm)	180	150	85	89	81
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.25	0.1	0.004	0.005	0.003
新城南工場 5号高圧ボイラー	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	第三条の規定	0.08	0.049	0.067	0.03
	窒素酸化物濃度(ppm)	180	150	80	94	65
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.25	0.1	0.002	0.002	0.002
新城南工場 6号高圧ボイラー	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	第三条の規定	0.08	0.03	0.036	0.024
	窒素酸化物濃度(ppm)	180	150	72	86	57
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.25	0.1	0.005	0.005	0.005
新城南工場 1号低圧ボイラー	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	第三条の規定	0.08	0.02	0.021	0.011
	窒素酸化物濃度(ppm)	180	150	83	86	80
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.25	0.1	0.010	0.011	0.009
新城南工場 2号低圧ボイラー	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	第三条の規定	0.08	0.021	0.027	0.015
	窒素酸化物濃度(ppm)	180	150	69	88	50
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.25	0.1	0.007	0.012	0.001
新城南工場 4t1号ボイラー	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	第三条の規定	0.08	0.032	0.047	0.017
	窒素酸化物濃度(ppm)	180	150	96	120	71
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.3	0.1	0.004	0.006	0.002
新城南工場 4t2号ボイラー	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	第三条の規定	0.08	0.041	0.063	0.019
	窒素酸化物濃度(ppm)	180	150	93	120	65
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.3	0.1	0.004	0.005	0.002

※大気汚染防止法、新城市公害防止協定に準拠、新城市との環境保全協定

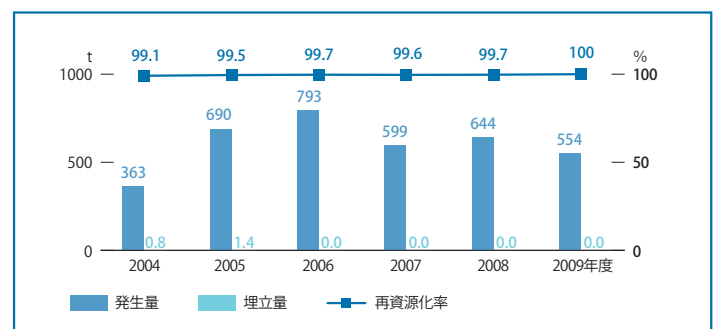
■廃棄物データ(ハマタイト含む)

新城工場



※廃棄物データ2006年度より完全ゼロエミッションを継続している
 ※2009年度再資源化率100%を達成した。

新城南工場



※廃棄物データ2006年度より完全ゼロエミッションを継続している
 ※年度再資源化率100%を達成した。

2010年度安全方針

基本方針

従業員、協力社員の安全と健康の確保が企業活動の基盤であるとの認識の下に、労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)の運用により、一人ひとりが安全を全てに優先させ、管理者と監督者とのリーダーシップで、危険ゼロ職場の推進によるゼロ災達成と快適な職場づくりを目指します。

安全衛生方針

- (1) 全従業員一人ひとりが安全を全てに優先させ全ての職位・職制の参加と行動と協力の下に安全活動の向上を図ります。
- (2) 管理監督者が率先して整理・整頓・清掃・躰の具体的行動と整備に対する取り組みを前進させます。

- (3) 労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)により作業と設備に係わる潜在的危険を排除するためにPDCAを回し、継続的リスク低減を図ります。
- (4) 管理監督者による声掛け運動と1対1教育で良好なコミュニケーションをつくります。
- (5) 労働安全衛生法をはじめ関係する諸法令を遵守するとともに、社内規定・基準に基づき従業員の安全を確保します。
- (6) 従業員の疲労やストレスを軽減するため、快適な職場環境の形成を促進します。
- (7) 安全衛生教育、諸活動を実施し、安全衛生意識の向上を図ると共に、協力会社へも安全衛生方針を表明し、協力を要請します。
- (8) 本方針を公開します。

従業員の教育・訓練

①労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)の構築

- ・OSHMSの認証取得と内部監査員育成
- ・安全監査・安全監査フォロー

②設備の安全化

- ・リスクアセスメント実践研の実施(2回/月)
- ・工程での作業・設備のリスクアセスメントの実施
- ・先端誘導作業の洗出しと対策
- ・ヒヤリ・ハット提案(1件/月・人)
- ・チョコ停・チョコ手直しの撲滅

③安全な人づくり

- ・危険予知訓練(KYT)の実施
- ・体感道場での教育・訓練(2回/年・人)
- ・安全マンの育成、安全文化の構築
- ・「止める・呼ぶ・待つ」「1対1の安全教育」の定着
- ・入社時安全衛生教育
- ・法定資格の取得
- ・OPLの作成と教育による安全意識の高揚と安全意識の共有化
- ・協力会社環境安全分科会による災害防止活動の共有化と支援

④快適な職場づくり

- ・作業環境の測定と整備

⑤心と体の健康づくり

- ・メンタルヘルスケアの実施

⑥交通事故の防止

- ・正門での交通安全指導と交通安全市民運動の参加(延べ640人)

災害時の対応

- ・災害発生時安全集合をかけ、災害発生要因と対策の共有化を図り、自工程に横展開する。
- ・安全衛生委員会で対策のフォローを実施。
- ・自工場・他工場の災害報告を配布し、自工程の類似設備、類似作業に横展開し、危険の芽を摘む。



2009年9月に新城消防署と合同で防災訓練を実施しました。工場としても5回実施し、地震・火災など災害の緩和を図りました。



2009年5月に野田川に油が流出した事を想定して訓練を実施し、合計4回行いました。

地域社会とのコミュニケーション

工場見学と懇談会の開催

2009年6月30日工場周辺の区長様12人を招いて、工場見学と懇談会を行いました。また、小学生の工場見학을3校148人受入、タイヤの製造現場を見ていただき質問にお答えしました。



工場見学の申込方法

随時、新城工場業務課
電話0536-22-2251まで
お問い合わせください。

地域清掃活動への参加

新城市主催で2009年6・10月の2回、新城クリーンフェスタに延べ320人参加し、市民の方々と共に地域清掃の汗を流しました。また工場外周辺を11回延べ595人参加し、清掃しました。



これまでに寄せられた主なご意見と対応内容

苦情：2009年10月9日、工場西側の住民の方より「カーボンが家の中に入って床に付着して、歩くと靴下が黒くなるので見てほしい。」と連絡をいただきました。

対応：バンパリーミキサーのバケット搬送点検窓が前日の台風の暴風で外れてしまったため、点検窓よりカーボンが工場西側に飛散させてしまいました。

設備点検を日常点検のほかに緊急時後稼動時点検をするように追加し、搬送装置をバケット搬送から空送搬送に10月中旬より変更しました。

以上、お詫びと原因説明、対応策を説明して御了解をいただきました。

スポーツ、イベント

2009年8月「新城納涼花火大会」、9月「新城ラリー」、2010年1月「新城マラソン」そして工場周辺の地区のお祭りに協賛・後援をして、皆さまとイベントを盛り上げました。

また2010年1月に「新城市消防出初式」に自衛消防隊が参加しました。



5月23日に新城工場第一期植樹会に12,756本、11月14日の新城南工場植樹祭に3,248本の植樹を行い延べ1,400人参加しました。2010年度も5月22日に新城工場、7月に新城南工場を予定しています。また、第1回愛知県植樹リレーの東栄町東部小学校植樹会をはじめ、4会場の植樹会に延べ65名がボランティアとして参加し、公共団体・他企業にも6,000本の苗木を無償提供いたしました。



参加従業員の声：内藤 勝

これまで11回の植樹祭に参加。参加前は環境活動について他人事と考えていましたが、今は自分にできることをやろうという気持ちに変わりました。皆さんも、まず1本植えてみませんか！楽しいですよ。



事務局コメント：藤澤 英司

日常の生産活動で忙しい従業員を巻き込んだプロジェクトなので、植樹の準備をどこまでお願いしていいものか、悩んだ時期がありました。そんな時、夜勤明けにもかかわらず、気持ちよく準備に参加してくれた従業員の一人から「何かあったら、また声をかけてください」と言われたときには、プロジェクトの事務局をやっている本当に良かったと思いました。これからは、工場周辺の植樹にとどまらず、苗木を架け橋として、地域の皆さまとの良好な関係を築いていきたいと考えています。



東郷町町長より第2回愛知県植樹リレー愛知池植樹会に苗木の提供とボランティア参加したことにより感謝状を頂きました。